

RITSUMEIKAN OSAKA IBARAKI CAMPUS

そだ

さとやま

育てる里山プロジェクト ハンドブック



しぜん
自然と、なかよくなろう。



RITSUMEIKAN
OSAKA
IBARAKI
CAMPUS
SINCE 2015



木を植える。地域と育てる。～育てる里山プロジェクト～

Illustration: 安井葉日花
(立命館大学理工学部2020年度卒)

育てる里山プロジェクトは、高速道路の建設や山間部の人口減少で失われつつある、茨木市北部の里山から苗木を採取し、立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)に植栽・再生・活用する取り組みです。市民と立命館大学の学生・教職員が共同で進めており、自然に触れながら里山について知ってもらうための里山講座も開催しています。



おもな活動内容

◆木を植え、育てる「定例活動」

原則、毎月第1土曜日・第3日曜日
10:00 ~ 15:00 (夏季は実施日時変更あり)
※最新の活動予定日は Facebook をご確認ください

◆いけばな教室、自然観察などの「里山講座」

里山に親しんでもらうことを目的として、樹木や草花、茨木北部の自然に関する様々なテーマで里山講座を開催しています。

里山づくりの流れ



里山から苗木を採取

キャンパスに植える

手入れして育てる

里山の成長

緑を活用する

里山エリアで出会える樹木たち

※2019年3月の調査に基づきます



コミュニティ共創プロジェクトの一つとして発足

育てる里山プロジェクトは、OIC で展開している「ガーデニングプロジェクト」「まちライブラリー@OIC」とともにコミュニティ共創プロジェクトの一つに位置付けられています。コミュニティ共創プロジェクトは、市民・学生・教職員が立場や世代を超えて出会い、交流することを通じて、新たな気づきや学びを得ることをすめています。OIC ではこれらの活動を通じて、新たなつながりや価値を生み出し、地域・社会の発展に貢献することを目指しています。

プロジェクトのあゆみ

すくすく

2015年-2017年

植生整備の新たな手法を取り入れ、里山再生を目指しました。

- ・大阪いばらきキャンパス(OIC)開設
- ・育てる里山プロジェクト開始(2015年4月)



街路樹サミットに参加しました。(2017年1月)



だいぶ樹木が育ってきた、里山エリアの様子。(2017年6月)



土壤改良に取り組みました。(2016年11月)



里山講座「北山杉と里山」
(2018年3月)



整備活動を継続し、樹木が安定して育つ環境が整ってきました。

2012年-2014年

キャンパス開設に向けて、活動がスタートしました。

プロジェクト立上げのころ
(左端は発起人の古川伸夫氏)

2012年



START
2015年



取り組みも、成長中！

樹木の名札づくりを行いました。(2019年1月)



2019年

公開講座やラジオ出演などを通じて、多世代に取り組みを広めました。



KBS京都ラジオに出演しました。
(2020年3月)

2020年

里山講座「雑木林のいきものさがし」
(2019年7月)

2019年

「育てる里山プロジェクト紹介動画」撮影。
(2020年8月)



緑が生い茂る、里山エリアの様子。(2020年6月)

2020年

新型コロナウイルスの影響で活動中止が続きましたが、着実に雑木林に近づいています。

はじまりは、「消える里山の引っ越しプロジェクト」

茨木市内では、以前からさまざまなボランティア団体が里山の保全と利用の促進に取り組んできました。2007年、それらの団体や地元自治会、大阪府森林組合、茨木市林業推進協議会などが参画して「里山サポートネット・茨木」を結成。茨木市里山センターを拠点に活動しています。

2015年のOIC開設よりも前の2012年、新キャンパスの緑化方法を模索していた立命館大学と「里山サポートネット・茨木」が出会い、茨木里山を守る会協力のもと「消える里山の引っ越しプロジェクト」を立ち上げて活動がスタートしました。その活動が「育てる里山プロジェクト」として、今に引き継がれています。

葉の見分け方を、知ろう。

葉のかたち

広葉樹

単葉

ふぶんれつよう
不分裂葉



切れ込みが
入らない単葉。

ぶんれつよう
分裂葉



切れ込みが
入る単葉。

複葉

さんしゅつぶくよう
三出複葉



3枚の小葉が1枚の
葉を構成する複葉。

じょうじょうふくよう
掌状複葉



5枚以上の小葉が1
か所から放射状に
出て、1枚の葉を構
成する複葉。

うじょうふくよう
羽状複葉



小葉が羽のよう
に並び、1枚の葉
を構成する複葉。

単葉と複葉 の見分け方

単葉は1枚1枚の葉柄のつけ根に芽があります。
一方、複数枚の小葉で1枚の葉を構成する複葉では
複葉全体の葉柄の基部に芽があります。



針葉樹

しんじょうよう
針状葉

束状



針のように細い葉。葉のつき方には束状と羽状がある。

りんじょうよう
鱗状葉

数mm程度の小さなうろこ状の葉。



葉が束生、らせん生などで密集し
て立体的につき、平面的にならない。

葉が羽のように並んでつき、
枝葉が平面的になっている。

葉の生え方

たいせい
対生



葉が対になって生えている。

ごせい
互生



葉が互い違いに生えている。

ようじょ
コクサギ型葉序



葉が2枚ずつ互生している。

落葉・常緑

らくようじゅ
落葉樹

寒くなってくると落葉し、暖かくなってくると
新しい葉が芽吹く木。多くは質が薄く、明るい色。

じょうりょくじゅ
常緑樹

一年中葉をつけている木。多くは質が厚く、
濃色で光沢が強い。

葉のふち

きょしえん
鋸歯縁



葉のふちがぎざぎざしている。

せんえん
全縁



葉のふちにぎざぎざがなく、なめらか。

樹高

- 小低木 ····· 成木の樹高が1m未満のもの。そのうち茎がほふくするものは「ほふく性低木」。
- 低木 ····· 成木の樹高が概ね3~4m以下、もしくは主幹が不明瞭で株立ち状のもの。
- 小高木 ····· 成木の樹高が概ね3~10m以上になり、主幹が明瞭なもの。
- 高木 ····· 葉成木の樹高が概ね8~10m以上になるもの。
- つる性木本 ····· 茎が他物に明瞭に登るつる植物で、木本性のもの。

春・夏
が見頃!

里山エリアにはどんな木があるの?

—他にも樹木がたくさんあります。ぜひ散策してみてね!—



青文字 /
Litsea cubeba

アオモジ

クスノキ科・ハマビワ属

早春にクリーム色の花をつける。枝葉は裏が粉白色で、ちぎるとレモンの香りがする。



鶯神楽 /
Lonicera gracilipes

ウガイスクага

スイカズラ科・スイカズラ属

枝に刀のツバのような托葉がある。早春に淡紅色の花を下向きにつける。赤く熟した果実は甘く、食べられる。



空木 /
Deutzia crenata

ウツギ

アジサイ科・ウツギ属

卯月(4月)に白い花が咲く「卯の花」。枝の中心が空洞であることから「空木」と名がついた。



Styrax japonicus

エゴノキ

エゴノキ科・エゴノキ属

初夏に白色の花を下向きにつける。果実は有毒のサポニンを含み、えぐい。種子はヤマガラなどの野鳥が好んで食べる。



樟木 /
Aralia elata

タラノキ

ウコギ科・タラノキ属

春の新芽は山菜の王様と呼ばれ、天ぷらや和え物などに調理される。幹や枝には鋭い、葉には細かいトゲがある。

樟、楠 /
Cinnamomum camphora

クスノキ

クスノキ科・クスノキ属

常緑樹では日本で一番大きくなる。古くから神社等で植えられた。樹皮や葉に樟脑の香りがあるため、防虫剤として使われた。



苗代茱萸 /
Elaeagnus pungens

ナワシログミ

グミ科・グミ属

苗代を作る5~6月頃に果実が熟し、赤くなることから名がついた。葉は光沢があって硬く、縁が波打っている。

苦苺 /
Rubus microphyllus

ニガイチゴ

バラ科・キイチゴ属

葉の裏が粉っぽく白い。細かいトゲがある。果実は5月頃に美味しいように赤く熟すが、中の種子を噛むと苦い。



不・分 互 落 鋸 低

不…不分葉 分…分裂葉 三…三出複葉 羽…羽状複葉 針(束)…針状葉(束状) 対…対生 互…互生

合歓木 /
Albizia julibrissin

ネムノキ

マメ科・ネムノキ属

夏に淡紅色の花が咲く。葉は夕方に閉じ、その姿が眠りにつくように見えることから名がついた。



羽 互 落 全 小~高



柃 /
Eurya japonica

ヒサカキ

サカキ科・ヒサカキ属

関西では柿に代わりお供えに使う仏花。雌株には秋に黒い果実がなる。花からは特有のガス臭がする。



蔽椿 /
Camellia japonica

ヤブツバキ

ツバキ科・ツバキ属

花は平開せず、咲いたままの形で花ごと落ちる。果実は椿油が損れ、古くから頭髪用、灯用などに使用されている。

落…落葉樹 常…常緑樹 鋸…鋸歯縁 全…全縁

低…低木 小…小高木 高…高木 つ…つる性木本

柊 /
Osmanthus heterophyllus

ヒイラギ

モクセイ科・モクセイ属

秋に香りのよい白い花を付ける。トゲのある葉は節分に厄除けとして使われる。老木では全縁のものもある。



木槿 /
Hibiscus syriacus

ムクゲ

アオイ科・フヨウ属

盛夏に紅紫色、白、ピンクなどの花が咲く。花は普通中心が赤い。韓国の国花としても有名。



山萩 /
Lespedeza bicolor

ヤマハギ

マメ科・ハギ属

まだ残暑が厳しい頃から赤紫色の花が咲き始める。「万葉集」に最も多く登場した樹木。





里山エリアにはどんな木があるの?

— 他にも樹木がたくさんあります。ぜひ散策してみてね! —



青葛藤 / *Cocculus orbiculatus*

アオツヅラフジ

ツヅラフジ科・アオツヅラフジ属

つる性植物で枝や葉には毛が生える。
秋に熟す藍色の果実の中の種子は、アンモナイトのような形をしている。

赤松 / *Pinus densiflora*

アカマツ

マツ科・マツ属

やせ地・乾いた尾根で育つ。マツタケと共生。約100年前の茨木にはアカマツが広い面積に生えており、山間部ではマツタケがたくさん採れていた。



犬山椒 / *Zanthoxylum schinifolium*

イヌザンショウ

ミカン科・サンショウ属

サンショウに似ているが、葉や果実の香りが少ない。トゲが互生している。土質を選ばず丈夫に育つ。



いろは紅葉 / *Acer palmatum*

イロハモミジ

ムクロジ科・カエデ属

日本のモミジの代表種で、紅葉が美しい。赤いがくのある小さな花を下向きにつける。



楊 / *Quercus variabilis*

アベマキ

ブナ科・コナラ属

葉や実はクヌギに似るが、樹皮のコルク層が厚いため「コルククヌギ」とも呼ばれる。葉裏は毛が多く白っぽく見える。



いろは紅葉 / *Acer palmatum*

イロハモミジ

ムクロジ科・カエデ属

日本のモミジの代表種で、紅葉が美しい。赤いがくのある小さな花を下向きにつける。



鎌柄 / *Pourthiaeavillosa*

カマツカ

バラ科・カマツカ属

白色の花をつける。材は丈夫で、鎌の柄や牛の鼻輪に使われる。果実は美味しい。



桟、櫟、橡 / *Quercus acutissima*

クヌギ

ブナ科・コナラ属

堅果(ドングリ)は1年半かかって翌年の秋に熟す。樹液はカブトムシが好む。シイタケの原木や薪炭に使われる。



小葉莢蒾 / *Viburnum erosum*

コバノガマズミ

ガマズミ科・ガマズミ属

枝葉花実はガマズミに似ているが、ひとまわり小さい。果実酒にすると美味しい。



不…不分裂葉 分…分裂葉 三…三出複葉 羽…羽状複葉 針(束)…針状葉(束状) 対…対生 互…互生

小真弓 / *Euonymus alatus*

コマユミ

ニシキギ科・ニシキギ属

マユミに比べて小ぶり。実は有毒で、食べれば嘔吐や下痢を引き起こす。葉はまだ暑い晩夏から色付き始め、秋に紅葉する。



白樺 / *Quercus myrsinifolia*

シラカシ

ブナ科・コナラ属

横縞がはっきりとした殻斗をかぶったどんぐりとなる。葉の裏は白みを帯びた淡い緑色。材は白い。



冬青 / *Ilex pedunculosa*

ソヨゴ

モチノキ科・モチノキ属

葉が風に吹かれてソヨソヨと音を立てる。赤いさくらんぼのような果実がなる。



南京櫟 / *Triadica sebifera*

ナンキンハゼ

トウダイグサ科・
ナンキンハゼ属

菱形の葉の紅葉が美しく、街路樹としても好まれる。秋から冬に熟した黒い実が割れ、中の白い種子が目立つ。

真弓 / *Euonymus sieboldianus*

マユミ

ニシキギ科・ニシキギ属

晩秋に淡紅色の果実が割れて朱色の種子を出す。弓を作る材料として用いられた。



紫式部 / *Callicarpa japonica*

ムラサキシキブ

シソ科・
ムラサキシキブ属

初夏に淡い紫色の花を小さなたまり状につける。秋には紫色の宝石のような果実がなる。



萩紫 / *Callicarpa mollis*

ヤブムラサキ

シソ科・
ムラサキシキブ属

木全体にふわふわしたビロードのような毛がある。ムラサキシキブより実は大きい。



落…落葉樹 常…常緑樹 鋸…鋸歯縁 全…全縁 低…低木 小…小高木 高…高木 つ…つる性木本



いばらきの里山をキャンパスに

茨木北部の里山は、コナラ・アベマキ・コシアブラなど広葉樹の雑木林が広がり、さらに北部では昔はアカマツ林でマツタケもよく採れたそうです。「育てる里山プロジェクト」は、地元いばらきの里山の植生をキャンパス内に再生しようと、里山サポートネット・茨木の一員としてさまざまな活動をしています。このハンドブックを見て興味を持たれた方は、ぜひご参加ください。

立命館大学 経営学部教授

田中 力 (たなか つとむ)

茨木市内里山関連団体紹介

茨木里山を守る会

活動地 千提寺 ほか

URL <http://maroonbear1.sakura.ne.jp/>

入会条件 「茨木市森林センター養成講座」修了者

活動内容 千提寺地区を中心とした森林整備活動

里山サポートネット・茨木

活動地 茨木市里山センター ほか

URL <https://www.ibasato.net/>

活動内容 里山センターの管理運営と市民参加による森林保全活動

備考 里山ボランティア団体等で構成される連合体

北辰窯炭焼き俱楽部

活動地 茨木市里山センター

活動内容 炭焼き技術の継承

鉢伏山森づくりの会

活動地 萩生岩阪(鉢伏山)

URL <https://www.saito-machikyo.com/鉢伏山/>

活動内容 鉢伏山を中心とした里山林の保全活動

茨木ふるさとの森林つくり隊

活動地 銭原 ほか

URL <http://ibaraki-mori.com/>

活動内容 里山の再生保全活動

車作里山倶楽部

活動地 車作

URL <https://www.facebook.com/satoyaclub/>

活動内容 主に車作地区的里山林保全、藤谷キツネノカミソリ保護地の整備

茨木バラとカシの会

活動地 いばらきの里山エリア ほか

URL <https://sites.google.com/view/ibarakashi/home>

入会条件 「シニア自然大学」在学者・修了者

活動内容 自然と触れ合う調査・観察会、小学校出前講座

新名神高速道路

名神高速道路

国道171号線

東海道新幹線

JR京都線

「育てる里山プロジェクト」の活動はこちらでも紹介しております。



「育てる里山プロジェクト」



「育てる里山プロジェクト
紹介動画」



KBS京都ラジオ
「さらピ! キョウト」

「育てる里山プロジェクト
(2020年3月12日放送)」



立命館大学

OIC地域連携室

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

TEL. 072-665-2550

発行 2021年3月